

大阪の子どもを守るサイバーネットワーク

—子どもを被害者にも加害者にもしないために—

オール大阪で
取り組む

教育委員会と警察・関係機関の連携

大阪の子どもを守るサイバーネットワーク連絡会議

- ☆携帯電話やインターネットを介して生起する事案に対して、課題解決に資するための情報交換等を行う。
 - ・実態把握についての情報交換、事例検討・未然防止に向けた学校や保護者に対する情報提供および啓発
 - ・家庭におけるルール作りを促進するための方策の検討・フィルタリングソフト活用の啓発 等

大阪府教育委員会

大阪市教育委員会 堺市教育委員会

市町村教育委員会

大阪教育大学 附属学校課

府内全市町村教育委員会の日常的なネットワーク

- ☆未然防止策の検討・啓発
- ☆解決策の共有化
- ☆事例の教訓化
- ☆相談先の明確化と的確なアドバイス

情報共有

大阪法務局
人権擁護部

府民文化部
私学・大学課

大阪私学生徒
指導連盟

大阪府専修学校
各種学校連
合会

相談
助言
情報共有
等

相談・助言
情報共有
等

相談
助言
情報共有
等

民間アドバイザー

NTTドコモ
ニフティ
テクノロジーネットワークサービス
ケイ・オプティコム
スマートバリュー
※事案への具体的な対処

大阪府警察本部

少年課 サイバー犯罪対策課
※事案への具体的な対処方法等への支援

公共アドバイザー

近畿総合通信局
大阪府政策企画部青少年・地域安全室
青少年課
大阪府消費生活センター
大阪市消費者センター
※事案への具体的な対処方

児童生徒
保護者

未然防止

ネット上のいじめ
有害情報
出会い系サイト
高額請求・詐欺行為 等

所管教育委員会等へ
報告・相談

所管教育委員会等から
対策等の指導・支援

小学校 中学校 高等学校
支援学校・特別支援学校

大阪府の現状と課題

携帯使用・ネット上のいじめ等の現状

依存傾向は横ばいだがネットゲームの利用は増加している

- ▶中1生徒の使用実態(1日):3時間以上使用⑳15.6%→㉓13.5%/メール51回以上⑳10.6%→㉓12.8%/3分以内返信⑳17.1%→㉓14.7%
- ▶ネットゲームの利用
中3男子⑳16.3%→㉓27.0%/高1男子⑳17.9%→㉓30.0%

被害体験は横ばいだが学校への被害相談は依然低い

- ▶被害体験⑳25.3%(小4児童17.5%、中1生徒29.2%)→㉓24.9%(小4児童16.4%、中1生徒29.1%)
- ▶フィルタリング使用率⑳31.8%→㉓32.6%
- ▶被害相談:学校⑳4.1%→㉓3.2%、保護者⑳31.3%→㉓37.3%

提言

- ・学校における相談体制と第三者性を生かした支援の充実
- ・「携帯・ネット上のいじめ等への対処法プログラム」を活用した児童生徒への傾倒的、計画的な指導の推進
- ・各時期における効果的な指導と工夫ある周知・啓発

大阪府平成20年度・23年度携帯電話の利用についての実態調査より